

Always Smiling, Orthodontics !

株式会社アソインターナショナル 2024年6月期第2四半期決算説明資料

2024年2月13日(火)



ASO International, Inc.
Orthodontic Laboratory Services

東京証券取引所スタンダード市場【証券コード9340】





2024年6月期第2四半期決算概要



売上高1,715百万円、前年同期比120百万円増収 (+7.6%)

営業利益211百万円、同3百万円増益 (+1.7%)

経常利益203百万円、同38百万円増益 (+23.3%)

当期純利益119百万円、同5百万円増益 (+5.3%)

すべての利益項目で前年同期比増益となる

売上高

- ①矯正業界は感染症禍特需の反動という環境の中だが、期初値上げ効果もあり、増収を達成
- ②矯正装置製品のデジタル工程・アナログ工程製品の比率が大きく変動、デジタル工程は足元36.6%へ
- ③海外売上高も微増ではあるが堅調に推移

売上総利益・営業利益・経常利益・当期純利益

- ①売上総利益：為替レートの高止まりによる材料費の増加があるものの前年並みの粗利率を確保
- ②営業利益：期初ベースアップや人材確保等による人件費の増加の影響で営業利益微増
- ③経常利益：前年上場費用消え23%増益、当期純利益：前年並みの当期純利益

主なトピック

- ①デジタル工程製品推進を継続、マウスピース全顎対応型製品販売に注力
- ②受注・顧客管理基幹システム「Sales Force」を導入、業務のDX化を推進
- ③日本矯正歯科学会学術大会へ出展、歯科矯正のデジタル化を業界を挙げて推進

2024年6月期第2四半期損益計算書サマリー

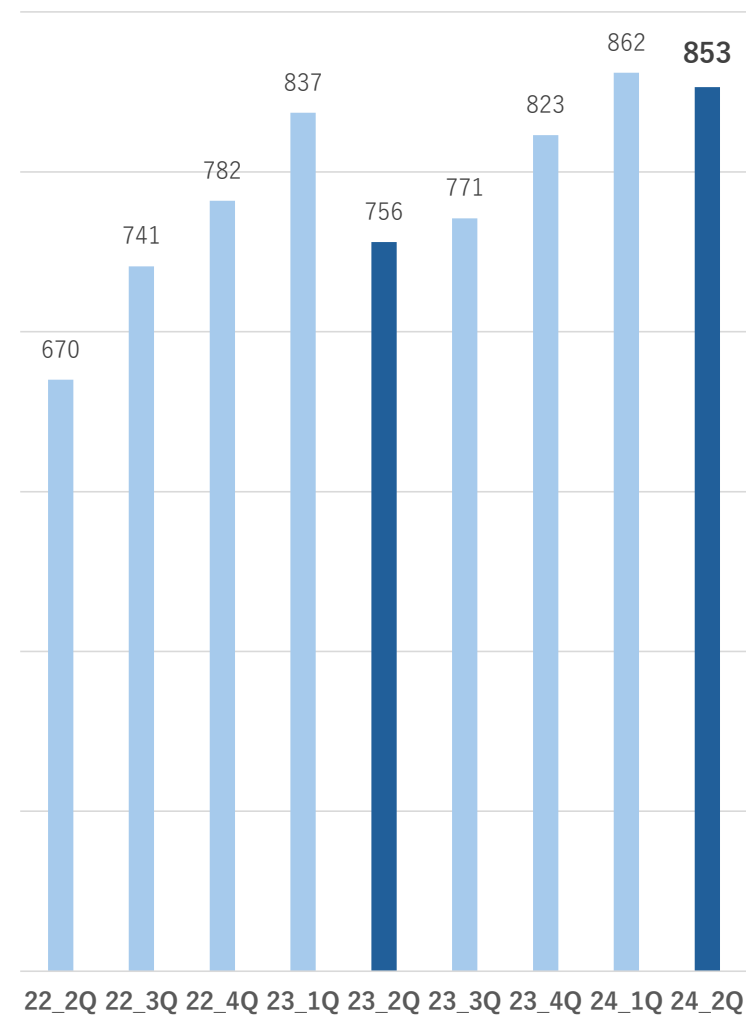
(単位：百万円)

科目	2023年6月期2Q累計 (2022年7月-12月)		2024年6月期2Q累計 (2023年7月-12月)		前年同期比		2023年6月期 (2022年7月-2023年6月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減比	金額	売上比
売上高	1,594	100.0%	1,715	100.0%	+120	+7.6%	3,190	100.0%
売上原価	906	56.9%	974	56.8%	+68	+7.6%	1,760	55.2%
売上総利益	687	43.1%	740	43.2%	+52	+7.6%	1,429	44.8%
販売費及び一般管理費	479	30.1%	528	30.8%	+48	+10.2%	969	30.4%
（うち人件費）	250	15.7%	279	16.3%	+28	+11.4%	500	15.7%
（うち減価償却費）	3	0.2%	7	0.4%	+4	+138.1%	8	0.3%
営業利益	208	13.1%	211	12.3%	+3	+1.7%	460	14.4%
営業外収益	4	0.3%	6	0.4%	+2	+48.0%	10	0.3%
営業外費用	47	3.0%	14	0.9%	-32	-68.8%	36	1.1%
経常利益	164	10.3%	203	11.9%	+38	+23.3%	433	13.6%
特別利益	10	0.7%	0	0.0%	-9	-95.0%	49	1.6%
特別損失	-	-	-	-	-	-	0	0.0%
税引前当期純利益	175	11.0%	203	11.9%	+28	+16.2%	482	15.1%
法人税等	58	3.7%	85	5.0%	+26	+45.7%	154	4.8%
法人税等調整額	3	0.2%	0	0.0%	-4	-124.6%	-10	-0.3%
税引後当期純利益	113	7.1%	119	7.0%	+5	+5.3%	338	10.6%

前四半期比較と四半期売上高推移

(単位：百万円)

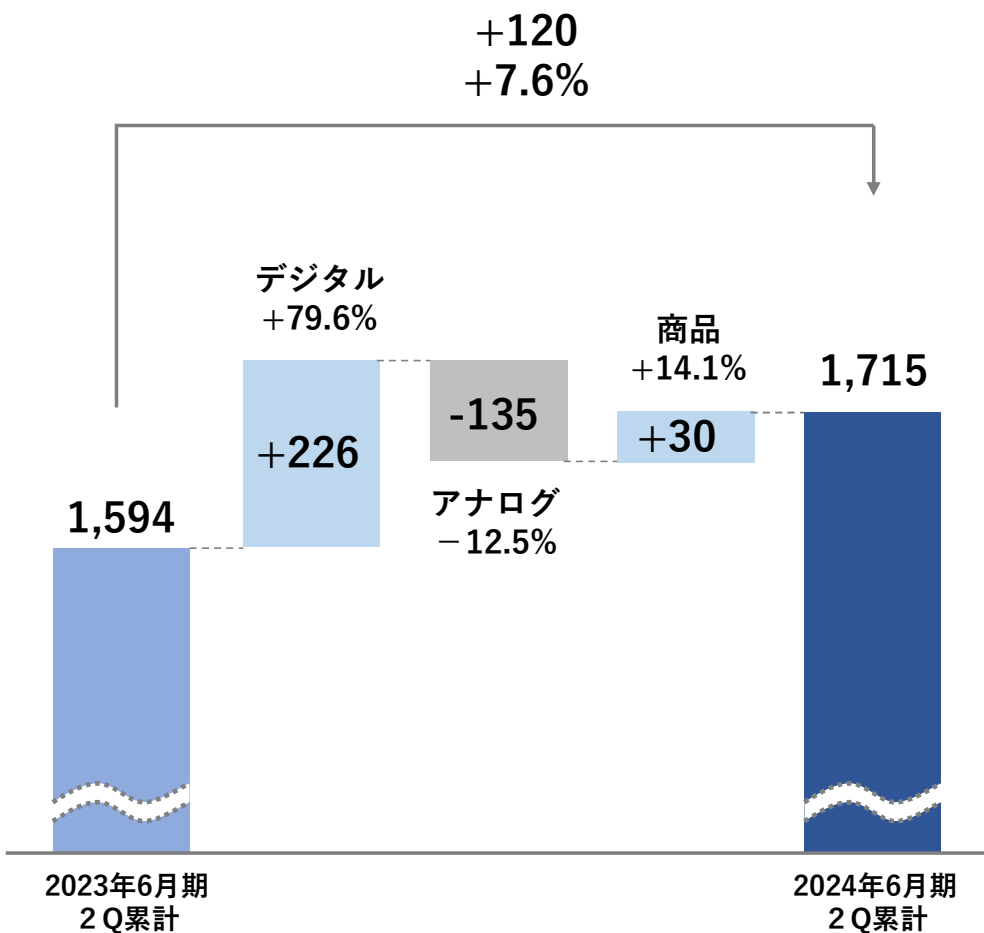
科目	2023年6月期2Q (2022年10月-12月)		2024年6月期2Q (2023年10月-12月)		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減比
売上高	756	100.0%	853	100.0%	+96	+12.7%
売上原価	458	60.7%	477	56.0%	+19	+4.1%
売上総利益	297	39.3%	375	44.0%	+77	+26.0%
販売費及び一般管理費	237	31.4%	262	30.8%	+25	+10.6%
（うち人件費）	125	16.6%	134	15.8%	+28	+11.4%
（うち減価償却費）	1	0.2%	4	0.5%	+2	+157.0%
営業利益	60	8.0%	112	13.2%	+52	+86.6%
営業外収益	1	0.3%	4	0.6%	+2	+143.9%
営業外費用	36	4.8%	11	1.4%	-24	-67.4%
経常利益	25	3.4%	105	12.3%	+79	+310.8%
特別利益	10	1.4%	0	0.0%	-10	-100.0%
特別損失	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	36	4.8%	105	12.3%	+69	+191.3%
法人税等	15	2.0%	45	5.4%	+30	+202.7%
法人税等調整額	1	0.2%	-16	-1.9%	-17	-1014.0%
税引後当期純利益	19	2.5%	75	8.9%	+56	+292.5%



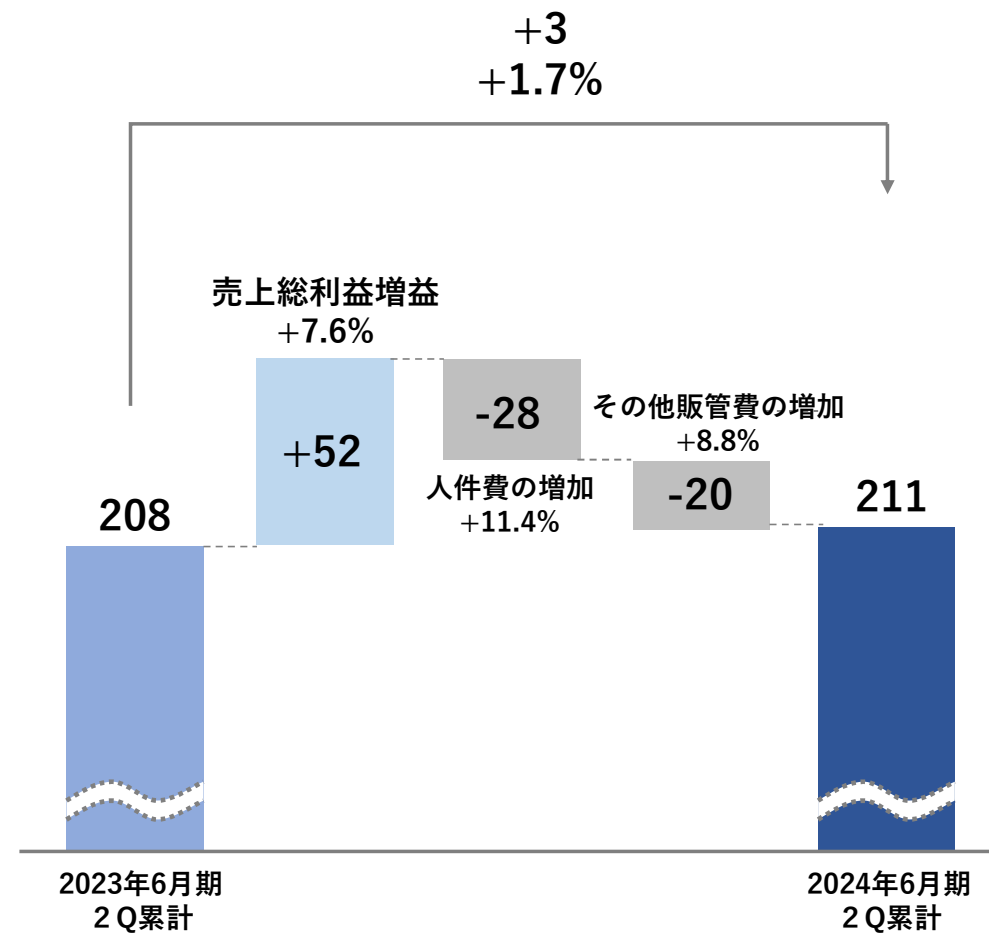
売上高・営業利益増減要因

(単位：百万円)

売上高



営業利益

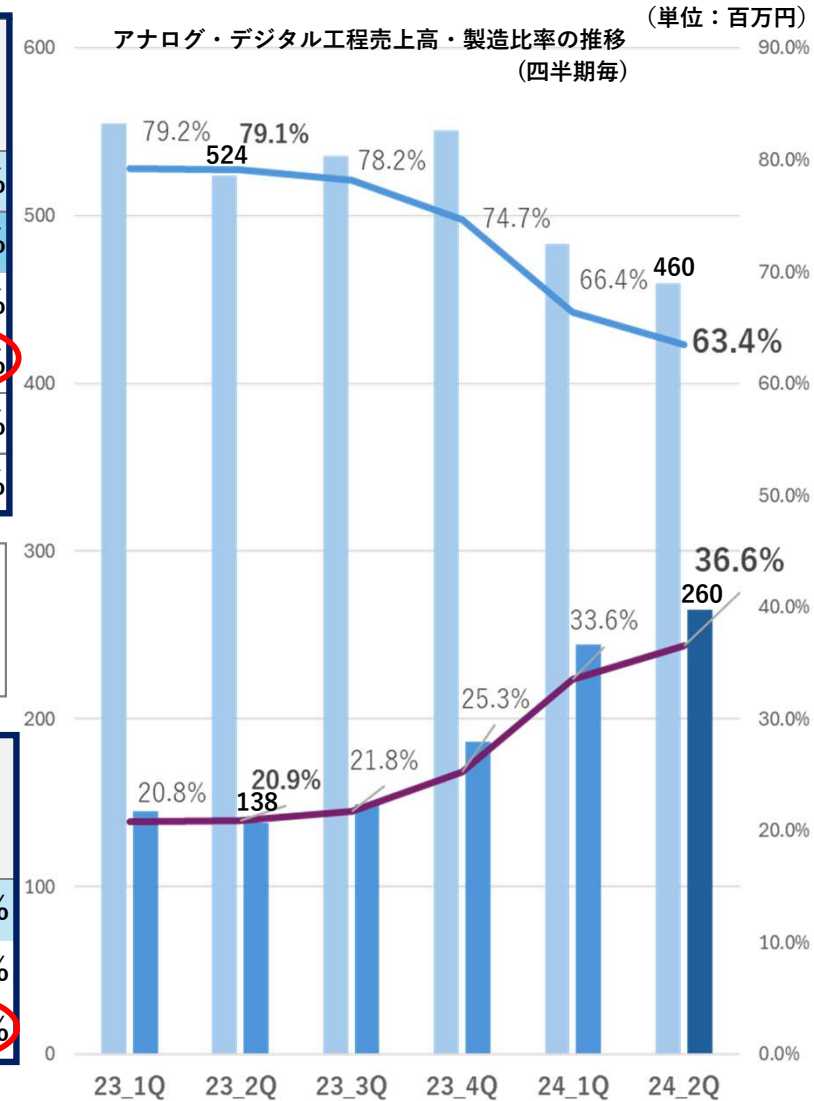
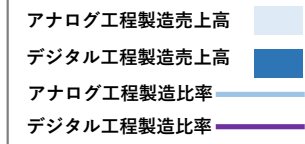


商品別売上高・国内外売上高／デジタル工程製造比率の推移

商品別売上高	2023年6月期2Q累計 (2022年7月-12月)		2024年6月期2Q累計 (2023年7月-12月)		増減	増減比
	金額	構成比	金額	構成比		
連結売上高合計	1,594	100.0%	1,715	100.0%	+120	+7.6%
矯正歯科技工物売上高	1,363	85.5%	1,454	84.8%	+90	+6.7%
アナログ工程製造 ※1	1,079	67.7%	944	55.1%	-135	-12.5%
デジタル工程製造 ※2	284	17.8%	510	29.7%	+226	+79.6%
商品売上高	217	13.7%	248	14.5%	+30	+14.1%
その他売上高	12	0.8%	12	0.7%	-0	-5.5%

※1 アナログ工程製造：矯正プレート、ファンクショナルワイヤー装置、リテーナー(保定装置)、スタディモデル(石膏模型)等

※2 デジタル工程製造：ライナー(マウスピース)型矯正装置、デジタルセットアップ矯正装置、デジタルサービス等



国内外売上高	2023年6月期2Q累計 (2022年7月-12月)		2024年6月期2Q累計 (2023年7月-12月)		増減	増減比
	金額	構成比	金額	構成比		
連結売上高合計	1,594	100.0%	1,715	100.0%	+120	+7.6%
国内売上	1,538	96.5%	1,639	95.6%	+100	+6.5%
海外売上 ※3	55	3.5%	75	4.4%	+20	+37.0%

※3 海外売上：米国ハワイ州、米国本土、オーストラリア、ベトナム、欧州等

連結貸借対照表サマリー

(単位：百万円)

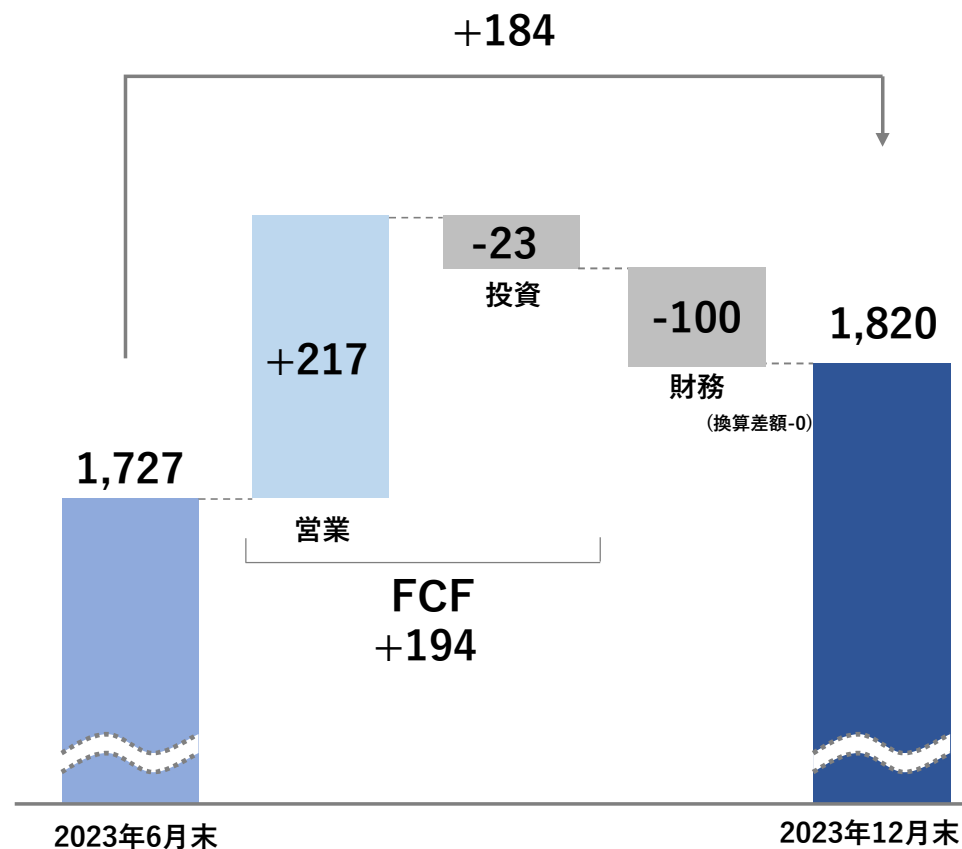
科目	2023_2Q (2022年12月末)		2023_4Q (2023年6月末)		2024_2Q (2023年12月末)		科目	2023_2Q (2022年12月末)		2023_4Q (2023年6月末)		2024_2Q (2023年12月末)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	2,187	85.3%	2,353	83.3%	2,384	84.0%	流動負債	300	11.7%	343	12.2%	336	11.8%
当座資産	1,990	77.6%	2,138	75.7%	2,213	78.0%	買掛金	114	4.5%	132	4.7%	128	4.5%
現預金	1,635	63.8%	1,727	61.1%	1,820	64.1%	その他の流動負債	185	7.2%	210	7.5%	207	7.3%
売掛金	354	13.8%	410	14.5%	393	13.9%	固定負債	18	0.7%	16	0.6%	17	0.6%
たな卸資産	158	6.2%	178	6.3%	136	4.8%	資産除去債務	18	0.7%	16	0.6%	17	0.6%
商品・製品	61	2.4%	70	2.5%	55	2.0%	負債合計	318	12.4%	360	12.8%	353	12.4%
仕掛品・材料	97	3.8%	107	3.8%	80	2.8%	株主資本	2,254	88.0%	2,480	87.8%	2,499	88.0%
その他の流動資産	38	1.5%	37	1.3%	34	1.2%	資本金	350	13.7%	350	12.4%	351	12.4%
固定資産	375	14.7%	472	16.7%	455	16.0%	資本剰余金	340	13.3%	340	12.1%	341	12.0%
有形固定資産	104	4.1%	101	3.6%	87	3.1%	利益剰余金	1,564	61.0%	1,788	63.3%	1,806	63.6%
無形固定資産	18	0.7%	56	2.0%	48	1.7%	その他包括利益累計額	-10	-0.4%	-15	-0.5%	-13	-0.5%
投資その他資産	252	9.9%	315	11.2%	319	11.2%	純資産合計	2,244	87.6%	2,465	87.2%	2,486	87.6%
資産合計	2,562	100.0%	2,826	100.0%	2,839	100.0%	負債・純資産合計	2,562	100.0%	2,826	100.0%	2,839	100.0%

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

現金及び現金同等物の期末残高とキャッシュフロー

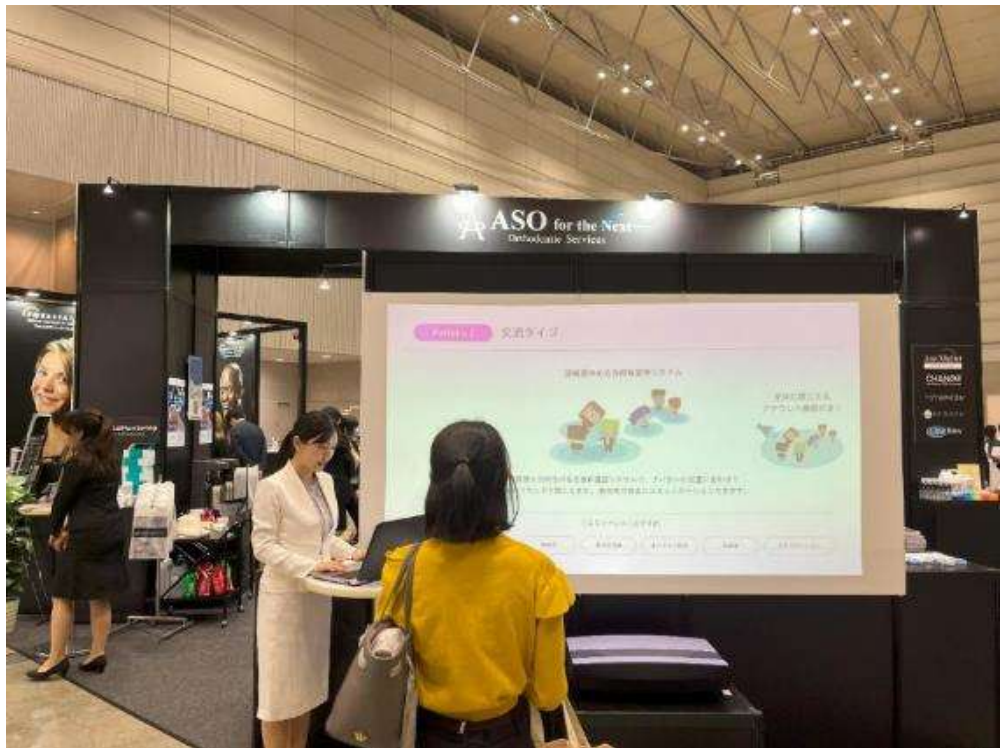
	2023年6月期2Q累計 (2022年7月-12月)	2024年6月期2Q累計 (2023年7月-12月)	前年比	2023年6月期 (2022年7月-2023年6月)
営業活動によるキャッシュ・フロー	105	217	+111	245
(主な項目)				
税金等調整前当期純利益	175	203	+28	482
減価償却費	17	20	+2	33
上場関連費用	21	-	-21	21
売上債権の増減額 (△は増加)	-8	13	+21	-58
たな卸資産の増減額 (△は増加)	-35	41	+77	-54
法人税等の支払額	-59	-102	-42	-140
投資活動によるキャッシュ・フロー	-35	-23	+12	-90
(主な項目)				
有形固定資産の取得による支出	-28	-17	+11	-73
財務活動によるキャッシュ・フロー	275	-100	-375	276
(主な項目)				
短期借入金の返済による支出	-200	-	+200	-200
長期借入金の返済による支出	-100	-	+100	-100
株式発行による収入	680	-	-680	680
配当金の支払額	-105	-101	+3	-105
現金及び現金同等物にかかる換算差額	-2	-1	-0	4
現金及び現金同等物の増減額	343	92	-251	435
現金及び現金同等物の期首残高	1,292	1,727	+435	1,292
現金及び現金同等物の期末残高	1,635	1,820	+184	1,727



日本矯正歯科学会学術大会に出展（2023年11月1日～3日・新潟朱鷺メッセ）



- ・ 歯科矯正医・研究者が一同に会し、著名医らによる講演やパネルディスカッション、臨床セミナーを開催、当社グループは大型ブースを出展
- ・ 仮想空間を体験頂けるメタバースレンタルスペースや、最新の口腔内スキャナーや3Dプリンターなどの実機展示し当社製品・商品をアピール





2024年6月期下半期の戦略と通期見通し



下半期の戦略サマリー

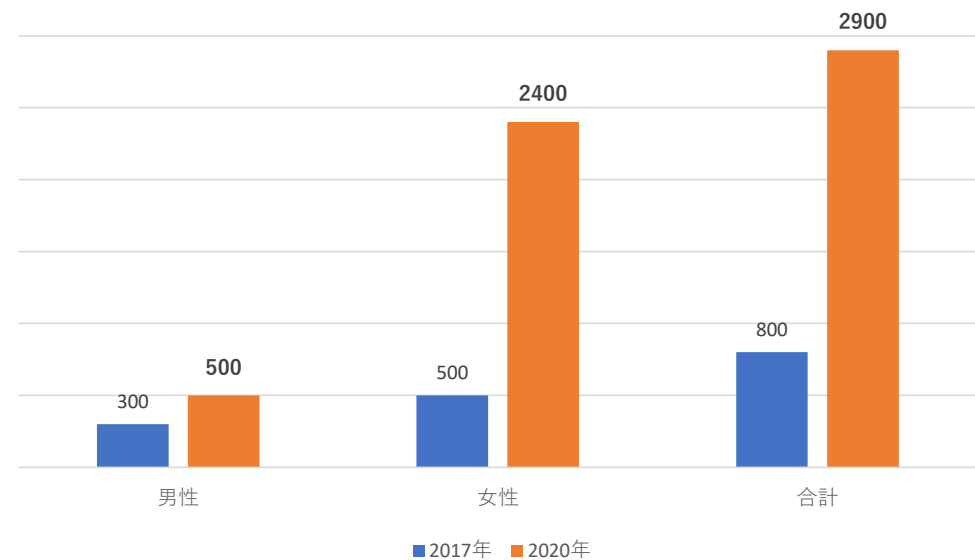
- ① デジタル工程矯正装置製品・保定装置の継続的販売に注力・**価格改定**を想定
- ② 矯正歯科業界全体の**DX化**推進（口腔内スキャナー、3Dプリンター、デジタルサービス等）
- ③ **海外市場売上拡大**に向けて米国現地法人設立と製造キャパシティ拡大

歯科矯正技工物市場について

矯正歯科技工物及び関連市場の拡大傾向は今後も続く見通し

- ① 審美的意識の高まり
審美的満足感は心の健康を改善し生活に活力を与える
➡ QOL（Quality Of Life）の向上
- ② 未病改善
矯正治療は歯に起因する様々な病態を防ぐ先制医療である
➡ 国民皆歯科検診の義務化【厚生労働省2025年(?)】

1日あたりの歯科矯正の初診患者数の推移



厚生労働省「令和2年（2020）患者調査」より当社作成

①- 1 デジタル工程矯正装置製品

マウスピース型矯正装置の製造・販売に19年の実績、国産マウスピース矯正では圧倒的な症例数と信頼
メタルプリンター活用で従前の既製品対応から患者個々に最適な材質・形状の装置製造が可能

CHANGE

AsoAligner®FULL-Package

2023年5月新発売

アライナー (マウスピース型)全顎対応矯正装置
料金定額型フルパッケージ (デジタル工程)

全顎的な矯正治療に対応した治療システム
アソアライナーが新たに適応症例を拡大

- 全顎的な矯正治療に対応
- 定額料金のパッケージプラン
- アタッチメントの付与可能

AsoAligner
DIGITAL
AA デジタル

進化

CHANGE
AsoAligner FULL-Package

SHU-lider.



3Dメタルプリント次世代型動的矯正装置 (デジタル工程)

デジタル技術を応用し、革新的なデザインと機能を持つ
スライディング・メカニズムにより3Dメタルプリント
矯正装置

ドイツ・デュッセルドルフ大学大学院・歯学博士
山口修二先生とASOデジタル技術によるコラゴ製品



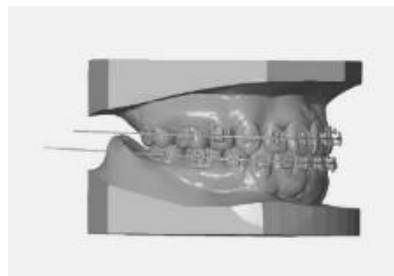
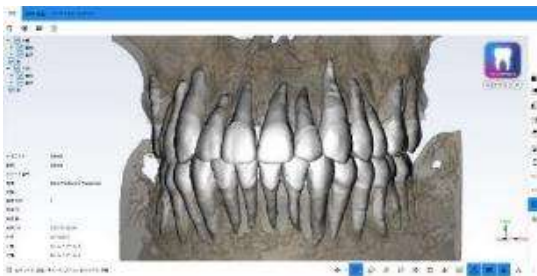
①-2 デジタル工程矯正装置製品

歯科医師の技術力による属人的問題を解消、デジタル工程製品は治療結果の標準化に寄与
顎骨や歯根などの情報を掛け合わせて提供できるため、より高度な診査・診断を歯科医師が行える



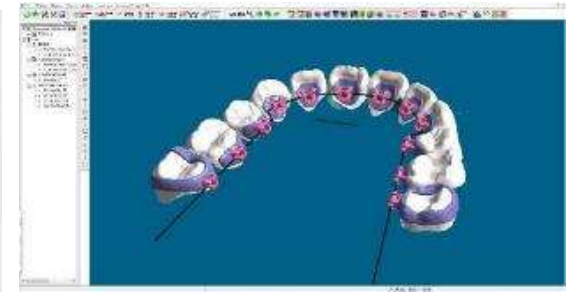
ラビアル矯正（唇側矯正）IDBS（デジタル工程）

CBCTデータ（DICOMファイル）とSTLデータを重ね合わせた歯根連動型セットアップによるラビアルIDBシステム
ブラケット（金具）ポジショニングの正確性を追求
ワイヤーベンディングマシンによる屈曲したワイヤの提供



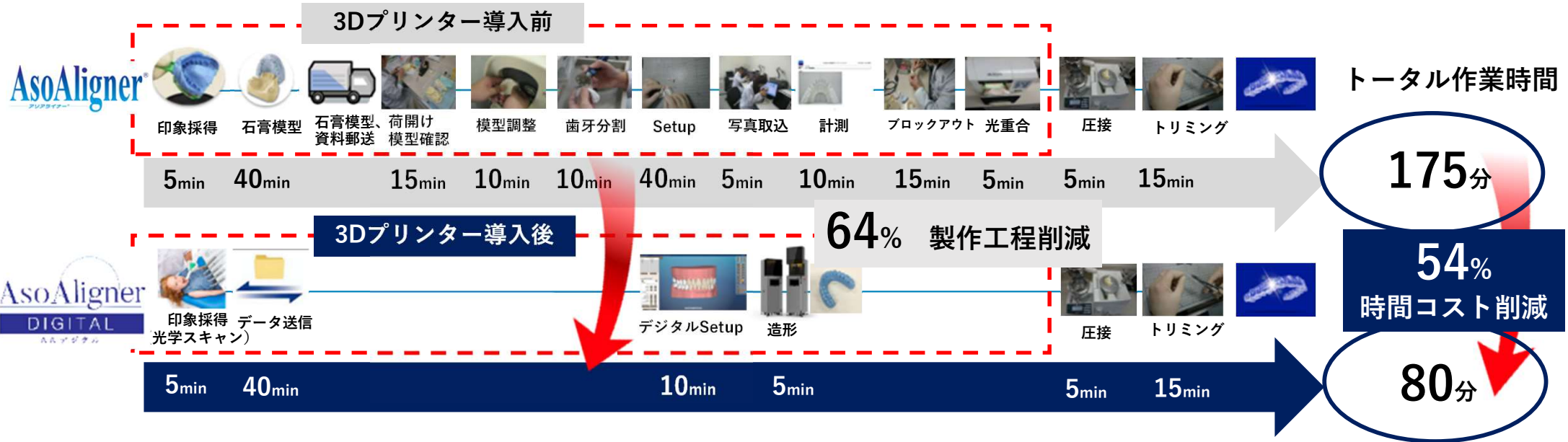
リンガル矯正（舌側矯正）IDBS（デジタル工程）

本格的デジタル矯正技工物の元祖、治療効率の精度向上
専用高機能ソフトウェアを使用したリンガルIDBシステム
ブラケット（金具）ポジショニングの正確性を追求
ワイヤーベンディングマシンによる屈曲したワイヤの提供



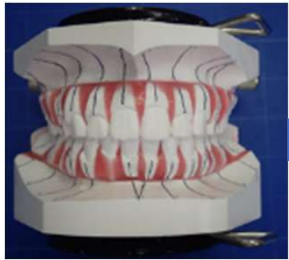
矯正装置製造デジタル化の効果

3Dプリンター導入前と導入後の工程の比較



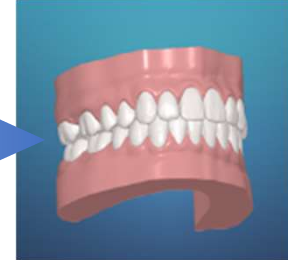
セットアップのデジタル化

- アナログ工程**
- ✓ 歯形作成における石膏固化に相当の時間
 - ✓ 石膏歯形は手作業により個々の歯形を切断分離
 - ✓ 手作業により歯形の並び替え



1 症例 120分

従来比効率
約**130%**改善



1 症例 90分

- デジタル工程**
- ✓ スキャンデータ(口腔内、模型)をCADへ取り込む
 - ✓ CAD上で歯形(歯列)の並び替え
 - ✓ CADデータを抽出し3Dプリンターで造形

①-3 リテーナー（保定装置）

リテーナー（保定装置）はすべての動的矯正治療終了後で必要であり、矯正特需後の受注状況は堅調
海外戦略商品：アライナー（マウスピース）型矯正装置の米国企業とのすみ分け

動的矯正終了後の後戻りを防ぐ為に使用する保定装置です。矯正を行った部位や歯列に応じて様々な形態のものがあります。
ホーラータイプ、ラップアラウンドタイプなどの床タイプの物やマウスピース状の物、口腔内で固定するフィックスなどの装置があります



ラップアラウンドリテーナー



スリムリテーナー



インビジブルリテーナー



フィックスリテーナー



クリアボウリテーナー



メタルリテーナー

②- 1 矯正歯科業界全体のDX化推進（口腔内スキャナーの販売・2024年1月25日開示）

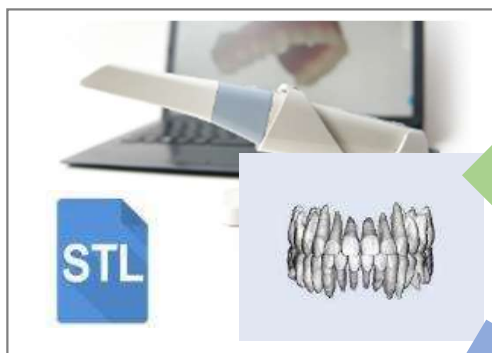
国内歯科医院における口腔内スキャナーの普及率は推定10%以下であり、**潜在的なニーズ**は高い
定期的なセミナーを開催し、**高性能・低価格**を訴求
グループ会社フォレストudent・ジャパンの販売チャネルも活用



- 「WE SCAN」(ダヴリュイー・スキャン)の特徴
- ① AIによる自動識別とGPUを搭載した高画像処理
 - ② 歯型取りの従来方法の約7倍の高精度データを実現
 - ③ 最大80fps(1秒間の画像枚数)の高速スキャンにより全顎スキャンは3分で完了
 - ④ 軽量で扱いやすく、直感的にシンプルな操作性
 - ⑤ 充実したソフトウェアとデータ送付・発注用専用クラウドサービスを完備

②-2矯正歯科業界全体のDX化推進

すべての口腔内スキャナで取得したデジタルデータで矯正技工物・装置の製作が可能
アナログマテリアルのデジタル化（石膏模型の3Dスキャン等） **Aso Digital Service**でSTLデータ化



STL (Stereolithography)
3DCADソフトにおけるファイルフォーマット



DICOM
(Digital Imaging and Communications in Medicine)
CTやMRI、CRの医用画像フォーマット



ASO
オーダーシステム



オーダー、過去の履歴の確認、
データの格納、指示書の呼び出し、
発注状況の確認等可能



メタルプリンター



Metal Print HYRAX

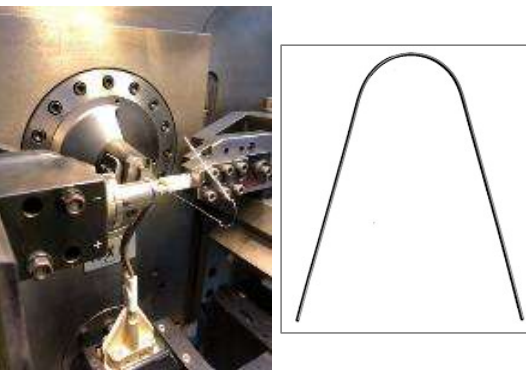


3Dプリンター



SHU-lider.

CHANGE
AsoAligner@FULL-Package



ワイヤーベンディングマシン



SYMPHONY

HARMONY



②-3矯正歯科業界全体のDX化推進（3Dプリンター）

3Dプリンター導入は歯科矯正装置製造デジタル化において不可欠
当社での模型製造と歯科医院への販売、造形物水洗い可能なレジン使用3Dプリンターを推奨
ブラケットカスタマイズ用ジルコニア（セラミック）3Dプリンター導入も検討



③海外市場戦略サマリー

受注戦略：カリフォルニア州サンノゼ市を拠点として、全米の歯科矯正医及び歯科技工所との**業務提携**を進め受注を獲得
 商品戦略：**リテーナー・ラビアルIDBS矯正装置**に注力し、マウスピース型矯正装置を中心とする大手米国企業との市場棲み分け
 生産戦略：ASO INTERNATIONAL MANILAでの人員体制を250名から**400名体制へ増員計画**、製造キャパシティ倍増へ



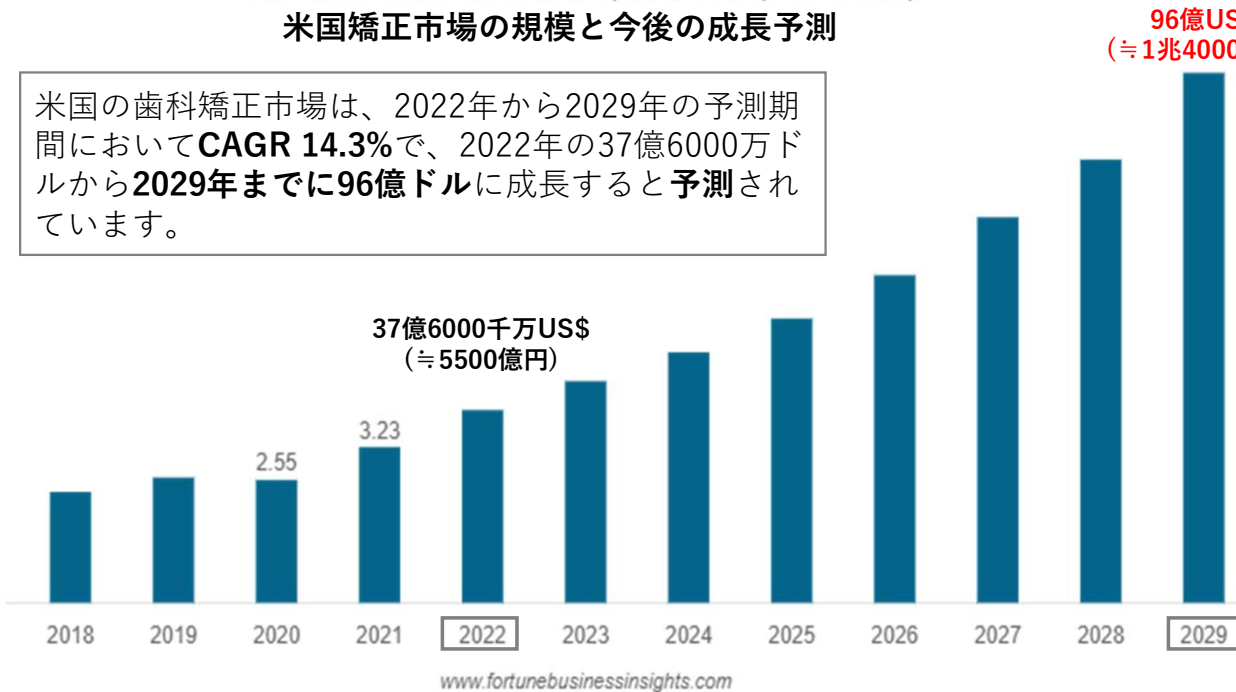
③- 1 米国現地法人設立 (2024年2月13日開示)

カリフォルニア州サンノゼ市に子会社現地法人を設立
情報収集・矯正歯科医との協業を推し進め、全米からの受注を目指す

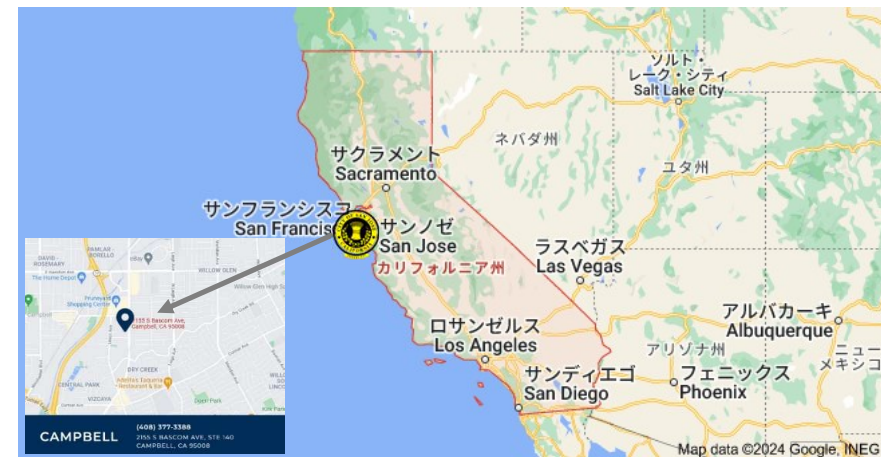
カリフォルニア州サンノゼ市
人口約100万人、カリフォルニアベイエリア
ハイテク産業の集積地であるシリコンバレーの中心都市

U.S. Orthodontics Market Size, 2018-2029 (USD Billion)
米国矯正市場の規模と今後の成長予測

米国の歯科矯正市場は、2022年から2029年の予測期間において**CAGR 14.3%**で、2022年の37億6000万ドルから**2029年までに96億ドル**に成長すると**予測**されています。



<https://www.fortunebusinessinsights.com/jp>より引用、日本円換算は1\$=145円概算



③- 2 米国受注拡大の足掛かり

アングル歯科矯正医会南カリフォルニア支部日本学会(2024年3月開催)の**ゴールドスポンサー**として学会へ協賛
当医会は米国を中心とした世界的な学会であり、世界的において最も権威のある歯科矯正学会のひとつ
代表取締役**阿曾敏正**の**基調講演**を予定



The
Edward H. Angle
Society of Orthodontists

Angle Southern California
A COMPONENT OF THE EDWARD H. ANGLE SOCIETY

The Edward H. Angle Society of Orthodontists (アングル歯科矯正医会)

1930年設立、米国を中心とした矯正歯科専門医の世界的な学会。
全米7支部をもつ。

歯科専門職と矯正歯科の専門性を育成し、支援し、奨励し、進歩させること等を主な目的としている

エドワード・H・アングル (1855年-1930年)

アメリカ・ペンシルバニア州生まれ、20世紀で最も影響のある歯科矯正医であり、矯正歯科分野の発展に大きく貢献したことで知られる。
1876年にペンシルベニア歯科大学を卒業、欧州へ渡り、矯正歯科の技術と理論について学ぶ。帰国後、歯と顎の位置が正常でない状態を指す「不正咬合」という用語を世の中に広く知れ渡らせる。「**矯正の父**」とも呼ばれる。



13:00~ 1st Scientific meeting in Nihonbashi

13:00~13:20	Welcome Speech
	13:20~14:00 Takayuki Kuroda Honorary prof of Tokyo medical dental Univ.
	14:05~15:05 Junichiro Iida Honorary professor of Hokkaido Univ.
	15:05~15:20 Coffee Break
	15:20~16:20 Takashi Ono Professor of Tokyo medical dental Univ.
	16:25~16:45 Toshimasa Aso President of the ASO International Gold Sponsor of the Angle Japan Meeting

フィリピン・マニラ市現地法人ASO INTERNATIONAL MANILAでの人員体制を250名から400名体制へ増員計画、製造キャパシティ倍増しグローバル受注拡大に向けた体制の確立を目指す



ASO INTERNATIONAL MANILA外観



ASO INTERNATIONAL MANILAデジタルセンター

下半期の戦略サマリー

- ① デジタル工程矯正装置製品・保定装置の継続的販売に注力・**価格改定**を想定
- ② 矯正歯科業界全体の**DX化**推進（口腔内スキャナー、3Dプリンター、デジタルサービス等）
- ③ **海外市場売上拡大**に向けて米国現地法人設立と製造キャパシティ拡大

科目	2023年6月期 (2022年7月-2023年6月)		2024年6月期 (2023年7月-2024年6月)		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減比
売上高	3,190	100.0%	3,463	100.0%	+272	+8.6%
営業利益	460	14.4%	506	14.6%	+45	+10.2%
経常利益	433	13.6%	496	14.3%	+62	+14.4%
税引後当期純利益	338	10.6%	341	9.8%	+2	+1.0%

矯正装置製造工程のDX化・海外売上拡大・人財投資/育成へ積極的な成長投資を継続

現状認識

- 株主資本コスト：9%前後と認識
- 自己資本利益率(ROE)の低下要因
 - IPOによる一時的な自己資本の積み上り
 - 人財への投資等による利益率の低下
 - 為替の影響による製造原価の一部上昇
- 成長戦略に基づき積極的に成長投資を継続

取組方針

DX化

- デジタル工程製造製品の拡大
- 製造効率向上
- 間接部門業務効率向上

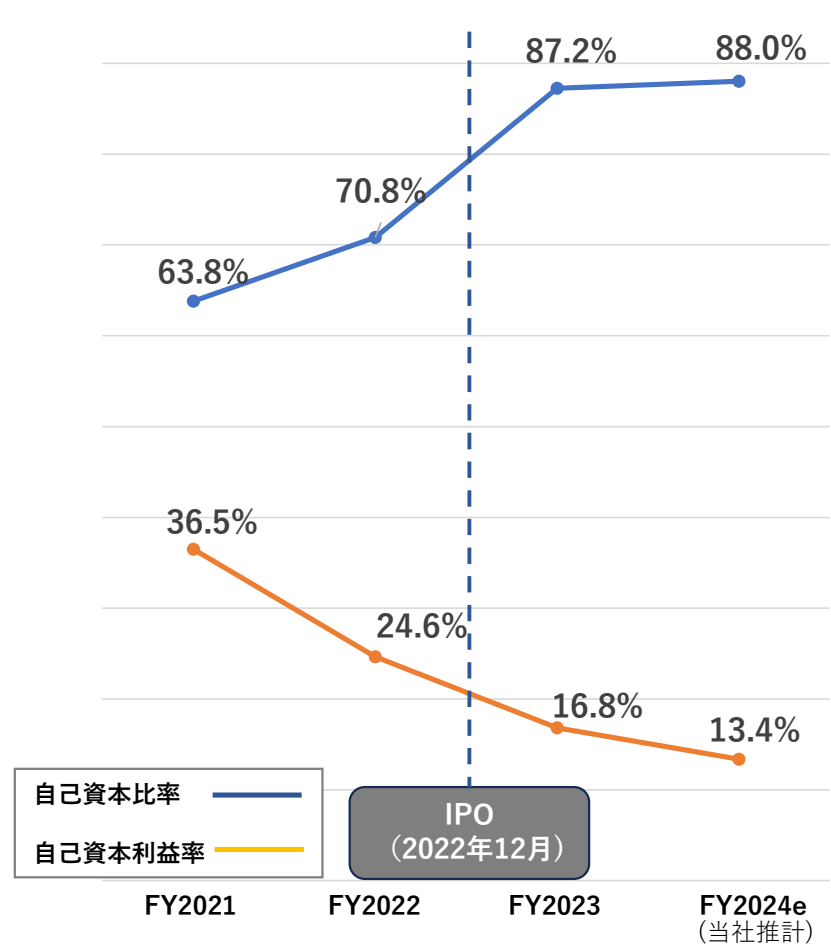
海外展開

- 日本製高品質矯正装置の認知度向上
- 営業拠点の新設・増強
- グローバル製造キャパシティ拡大

人財投資

- 人財獲得・育成
- 処遇・労務環境改善
- 組織再編・業務活性化のための投資

自己資本比率と自己資本利益率の推移





Appendix



会社概要（2024年1月1日現在）

会 社 名	株式会社アソインターナショナル 【英語名：ASO INTERNATIONAL,INC.】		
代 表 者	代表取締役社長 阿曾 敏正（あそ としまさ）		
創 業 ・ 設 立	創業1982年4月 法人設立1988年5月		
本 社 所 在 地	〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目11番8号		
国 内 支 店	新潟オフィス、大阪オフィス、名古屋オフィス		
子 会 社	フォレストアデント・ジャパン株式会社 ASO INTERNATIONAL HAWAII（米国現地法人） ASO INTERNATINAL MANILA（比国現地法人）		
上 場 市 場	東京証券取引所スタンダード市場 【証券コード：9340】		
資 本 金	351百万円		
事 業 内 容	歯科技工所の経営並びに歯科材料の輸入及び販売等		
役 員	代表取締役 阿曾 敏正	取締役（社外）高橋 祐介	監査役（社外） 静 健太郎
	取締役 内山 淳	取締役（社外）松尾 一彦	監査役（社外） 奥村 祥樹
	取締役 桑原 勉	監査役（常勤）永瀬 巖	
連 結 従 業 員 数	380名（正社員・パートタイマー含む、役員除く）		
連 結 総 資 産 / 純 資 産	連結総資産2,839百万円 連結純資産2,486百万円		

株式分布状況（2023年12月31日現在）

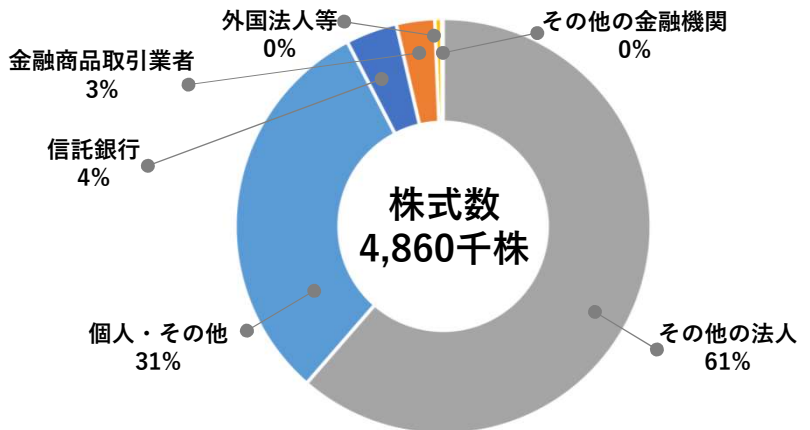
所有者別状況

項目区分	株式数		株主数	
	(株)	%	(名)	%
政府・地方公共団体	-	0.0%	-	0.0%
金融機関	銀行	-	-	0.0%
	信託銀行	194,100	1	0.1%
	生命保険	-	-	0.0%
	損害保険	-	-	0.0%
	その他金融機関	5,300	1	0.1%
金融商品取引業者	145,369	3.0%	20	1.0%
その他の法人	2,983,500	61.4%	34	1.8%
外国法人等	25,900	0.5%	14	0.7%
個人・その他	1,506,131	31.0%	1,850	96.4%
合 計	4,860,300	100.0%	1,920	100.0%

議決権あり株主数	1,789名
総議決権数	48,590個

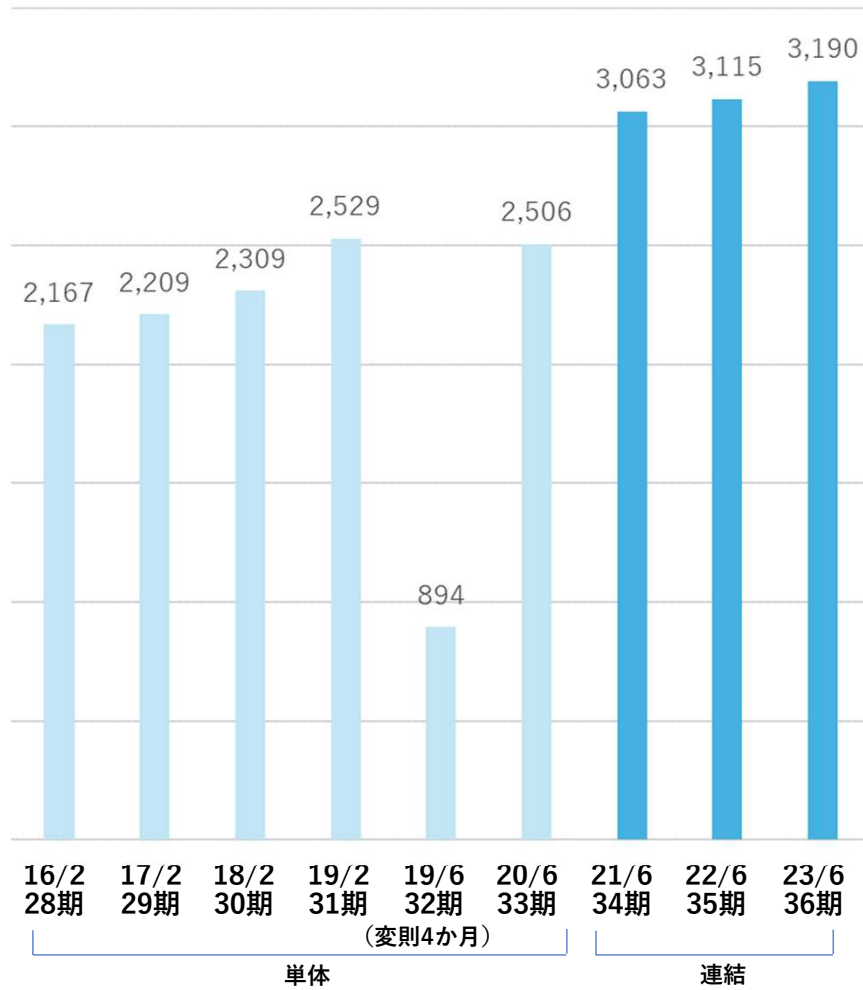
大株主上位10位

	株主名	株式数	%
1	株式会社ASO	2,800,000	57.6%
2	阿曾敏正	399,700	8.2%
3	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	194,100	4.0%
4	光通信株式会社	119,800	2.5%
5	岩見好為	54,000	1.1%
6	加藤英次	50,000	1.0%
7	楽天証券株式会社	48,400	1.0%
8	株式会社SBI証券	45,200	0.9%
9	田中博	35,500	0.7%
10	榎本悦男	20,000	0.4%



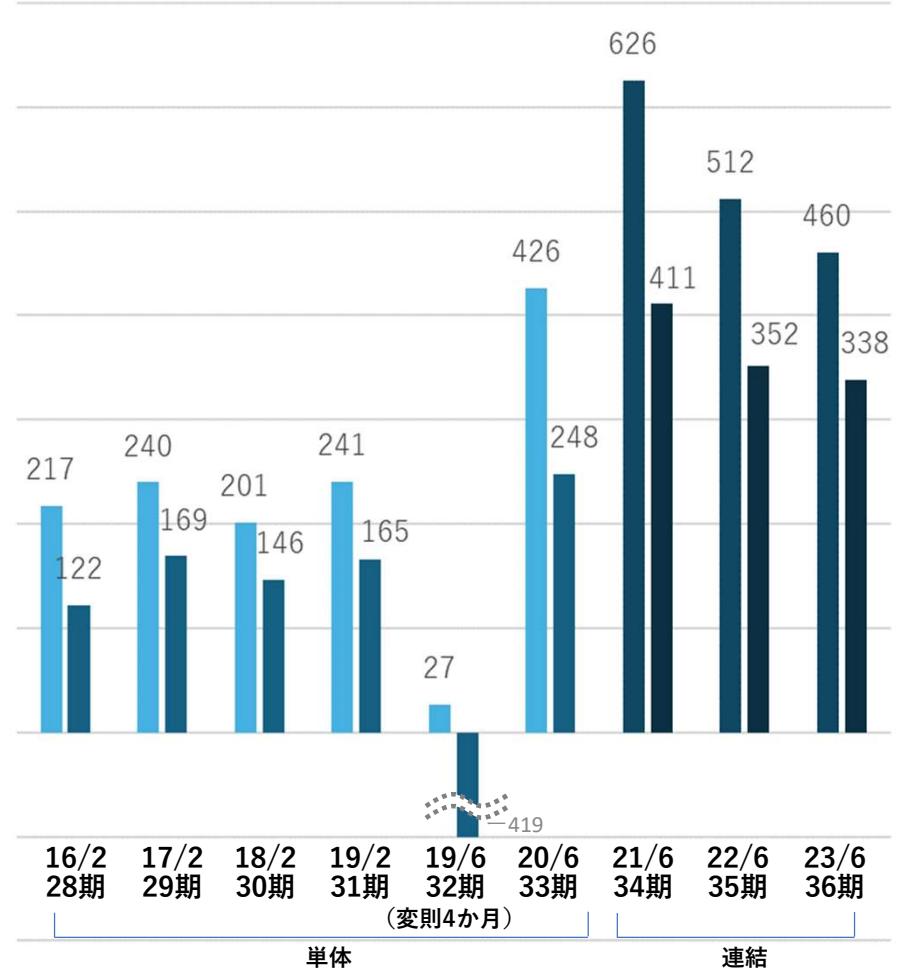
売上高・営業利益・当期純利益の推移 (FY2016~FY2023)

売上高



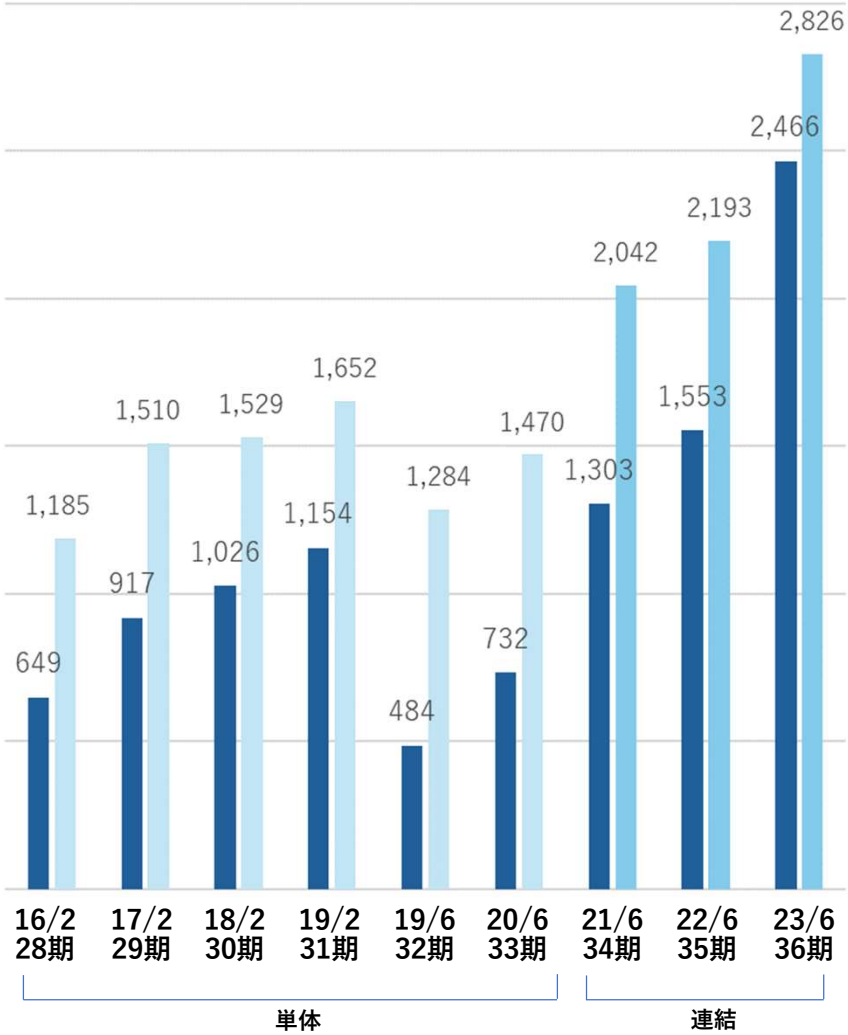
営業利益・当期純利益

(単位：百万円)



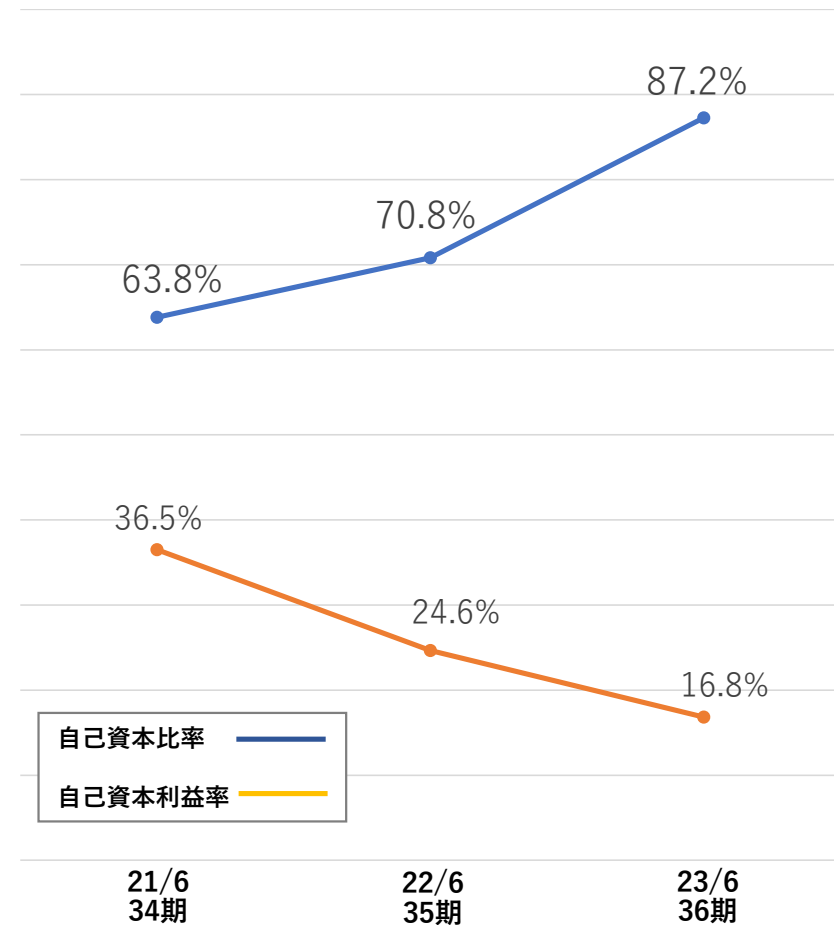
総資産・純資産・自己資本利益率の推移 (FY2016~FY2023)

総資産・純資産



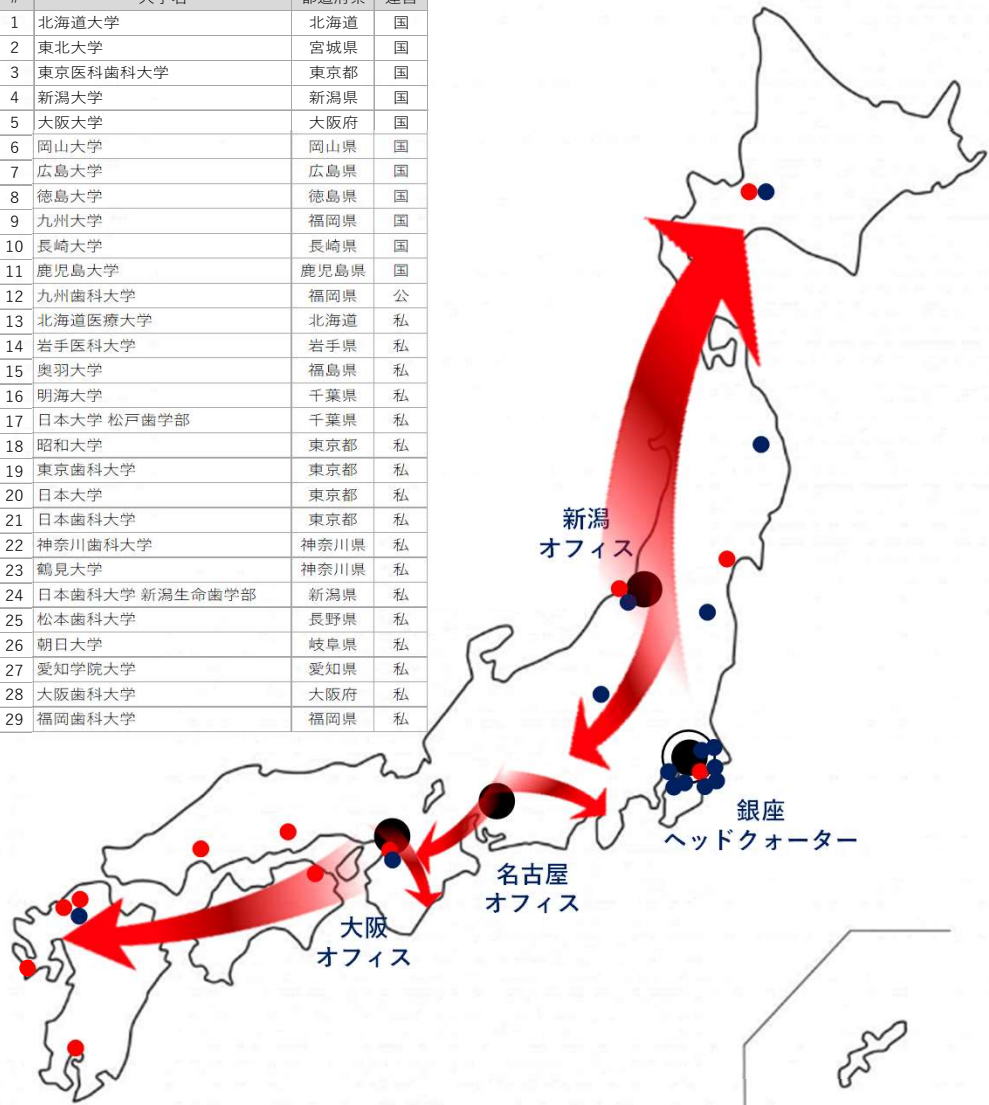
自己資本比率・自己資本利益率 (連結)

(単位：百万円)



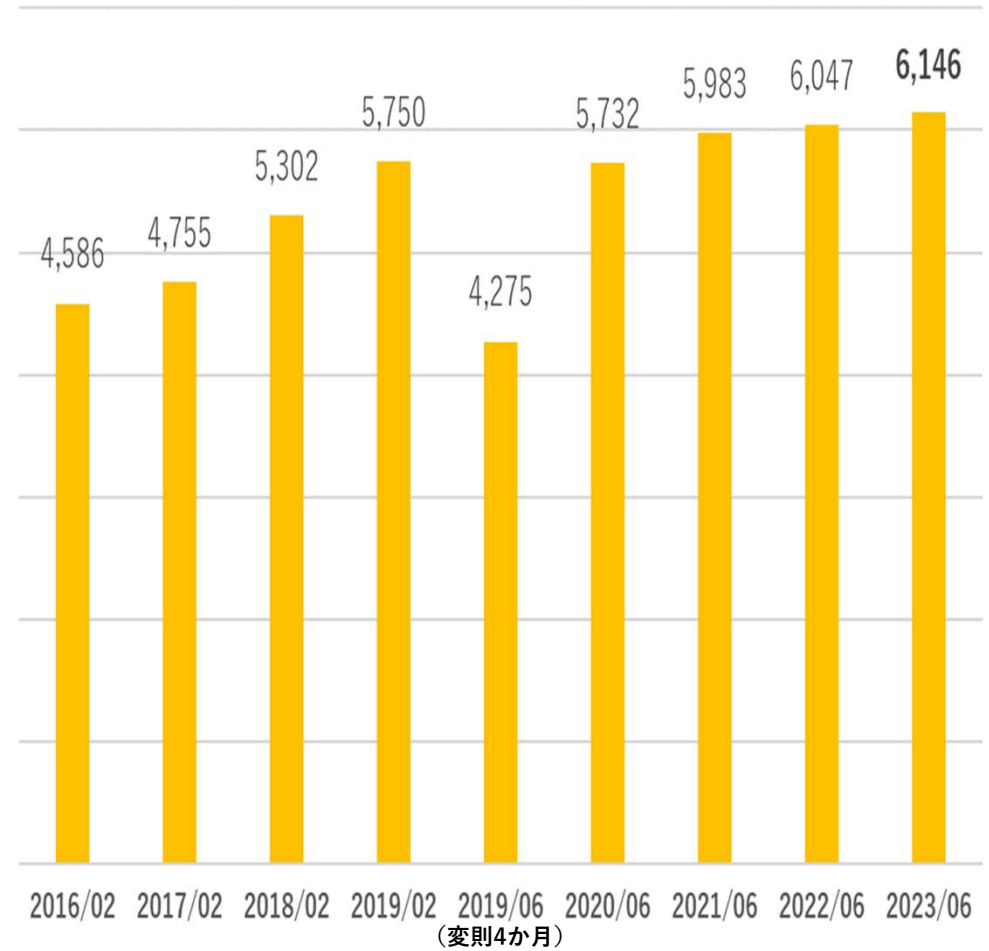
全国国公立大学29校すべての歯学部と6000超の歯科医院が顧客

#	大学名	都道府県	運営
1	北海道大学	北海道	国
2	東北大学	宮城県	国
3	東京医科歯科大学	東京都	国
4	新潟大学	新潟県	国
5	大阪大学	大阪府	国
6	岡山大学	岡山県	国
7	広島大学	広島県	国
8	徳島大学	徳島県	国
9	九州大学	福岡県	国
10	長崎大学	長崎県	国
11	鹿児島大学	鹿児島県	国
12	九州歯科大学	福岡県	公
13	北海道医療大学	北海道	私
14	岩手医科大学	岩手県	私
15	奥羽大学	福島県	私
16	明海大学	千葉県	私
17	日本大学 松戸歯学部	千葉県	私
18	昭和大学	東京都	私
19	東京歯科大学	東京都	私
20	日本大学	東京都	私
21	日本歯科大学	東京都	私
22	神奈川歯科大学	神奈川県	私
23	鶴見大学	神奈川県	私
24	日本歯科大学 新潟生命歯学部	新潟県	私
25	松本歯科大学	長野県	私
26	朝日大学	岐阜県	私
27	愛知学院大学	愛知県	私
28	大阪歯科大学	大阪府	私
29	福岡歯科大学	福岡県	私



取引歯科医療機関数の推移

(院数)

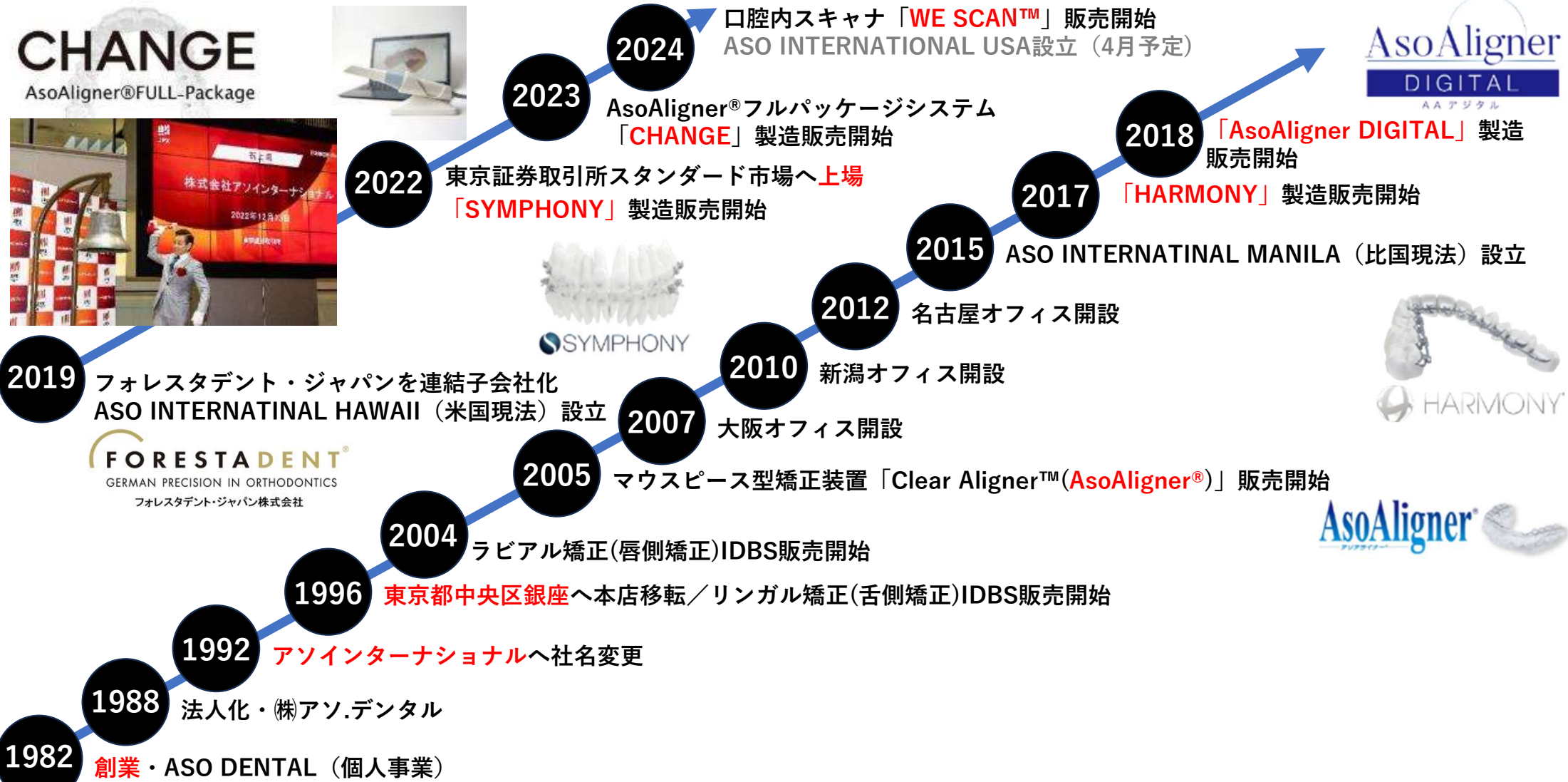


(各期において、一回以上取引があった歯科医院数)

組織図 (2024年1月1日現在)



アソインターナショナル創業来の歩み (1982~2024年)



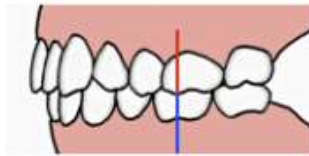
なぜ“矯正”が必要なのか？

矯正歯科の目的は、歯並び、咬み合わせの改善、さらに良好な咬合（こうごう＝かみ合わせ）を維持することで、患者さんのQOL（Quality Of Life）の向上を目指すことにあります。

- ✓ 食べ物がきちんと噛めない
- ✓ 肩こりや頭痛がする
- ✓ 虫歯や歯槽膿漏の原因となる
- ✓ 発音が正しくできない
- ✓ 非社交性の原因となる
- ✓ 審美性の追求
- ✓ 歯並びが悪い
- ✓ 口唇の突出感 等々

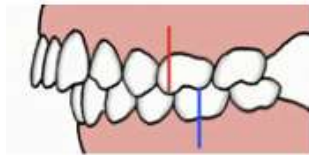
アングルの不正咬合分類

I級 (Class I)



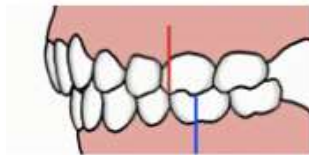
正常
八重歯、乱ぐい歯

II級1類 (Class II Div. 1)



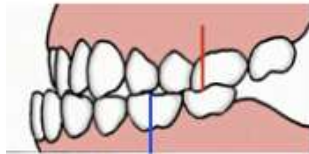
下顎の第1大臼歯が上顎の第1大臼歯に対して遠心にある
I類：上顎前歯の前突を伴う
出っ歯

II級2類 (Class II Div. 2)

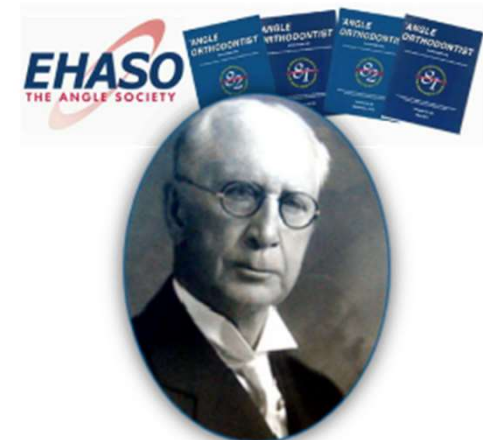


下顎の第1大臼歯が上顎の第1大臼歯に対して遠心にある
II類：上顎前歯の後退を伴う
オーバーバイト

III級 (Class III)



下顎の第1大臼歯が上顎の第1大臼歯に対して近心にある
受け口



エドワード・H・アングル (1855年-1930年)

アメリカ・ペンシルバニア州生まれ、20世紀で最も影響のある歯科矯正医であり、矯正歯科分野の発展に大きく貢献したことで知られる。

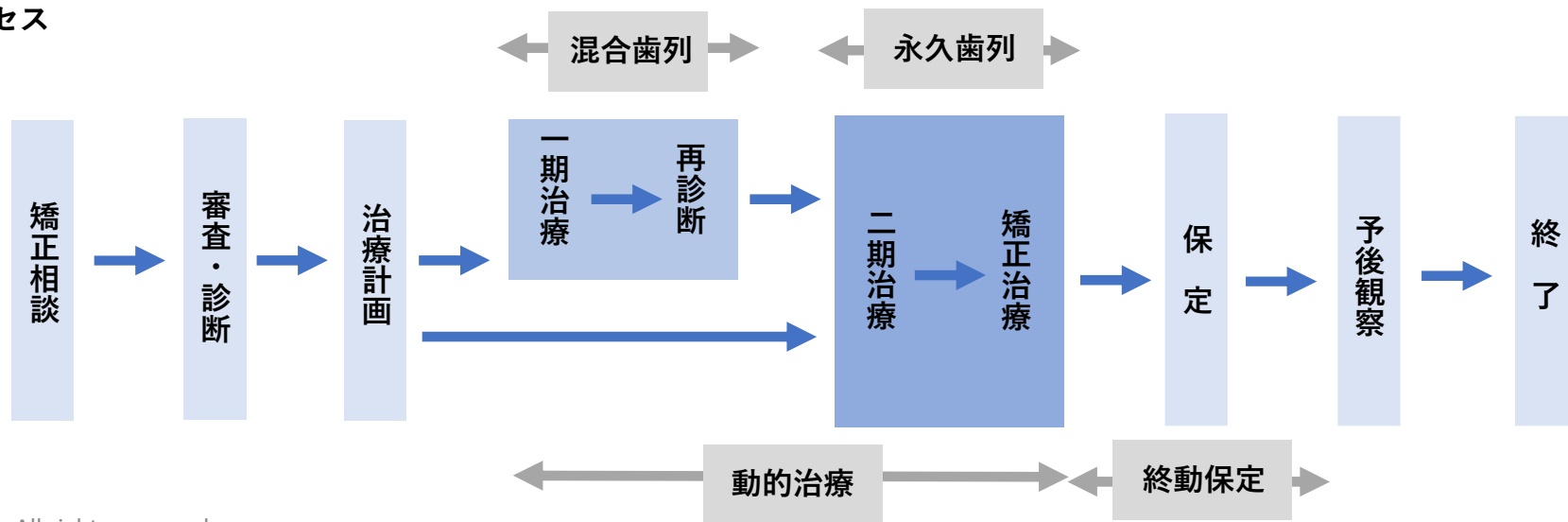
1876年にペンシルベニア歯科大学を卒業、欧州へ渡り、矯正歯科の技術と理論について学ぶ。帰国後、歯と顎の位置が正常でない状態を指す「不正咬合」という用語を世の中に広く知れ渡らせる。「矯正の父」とも呼ばれる。

歯科矯正の種類とプロセス

歯科矯正の種類



歯科矯正のプロセス



国内歯科用矯正装置マーケットについて (株式会社R&D歯科機器・用品年間2024年版より引用)

①22年度のトータルマーケットは114.2億円 (=矯正装置部材)

20・21年度は“マスク社会”となり、歯列矯正をスタートする好機として市場拡大を後押しした。22年度もその傾向は残ったが、それよりも社会情勢を原因とした供給不足や物価上昇の気配から、買いためとして需要の先食いも発生しており、22年度の増加に繋がったと推察される。なおコロナ禍以前より矯正患者数は増加傾向であり、主にアライナー矯正がニーズを掘り起こしている状況に変化はない。**アライナーを希望する患者が歯科医の診断によってブラケット治療をスタートするケースもあるとみられ、アライナーがブラケット市場を侵食するばかりではなく、両者の相乗効果によって矯正市場全体が伸びていると推察される。**患者が審美性の高さを望む傾向も変わりはなく単価は上昇している模様。23年度はいよいよ“マスク社会”の終焉が見え始め、前年の需要の先食いも影響し、減少に転じる見通しとなっている。

表 2-23-1 矯正装置マーケットサイズの内訳

単位：百万円、%

	20年度			21年度			22年度			23年度予測		
	金額	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率
ブラケット	4,071	4,350	6.9	4,636	40.6	6.6	4,526	40.9	-2.4			
チューブ/バンド類	1,408	1,775	26.1	1,883	16.5	6.1	1,825	16.5	-3.1			
ワイヤー	1,488	1,666	12.0	1,860	16.3	11.6	1,794	16.2	-3.5			
その他 (接着材ほか)	1,514	1,592	5.2	1,573	13.8	-1.2	1,519	13.7	-3.4			
材料・消耗品 小計	8,481	9,383	10.6	9,952	87.2	6.1	9,664	87.4	-2.9			
器械・器具	815	840	3.1	842	7.4	0.2	783	7.1	-7.0			
歯科矯正用アンカースクリュー	437	531	21.5	623	5.5	17.3	615	5.6	-1.3			
合計	9,733	10,754	10.5	11,417	100.0	6.2	11,062	100.0	-3.1			

(※当社推定)

石膏等関連商品及びアライナー（マウスピース）矯正、カスタムメイドブラケット矯正装置等含まず

②「カスタムメイド矯正装置」 (=当社主力商品)

患者ごとにオーダーメイドしたアライナーやリングブラケットなどを用いる矯正治療装置のことをいう。（中略）また海外加工である場合は、製品が医療用品や技工物ではなく「雑品」として分類されているなど、医療・歯科治療として線引きやルールがあいまいなまま普及してしまっているのが実情である。

アライナー矯正の主な製品としては、インビザラインジャパンの「インビザライン」、矯正専門の技工所であるアソインターナショナルの「アソアライナー」のシェアが高く、（中略）

患者数はさらに増加が見込まれる模様。デジタルソリューションとの親和性も高く、まだまだ発展できる余地があるとみられており今後の動向に注目が集まっている。

国内歯科矯正装置マーケットまとめ

- ①ブラケット・ワイヤー等の矯正装置部材マーケットは114億円 (=アソインターナショナルのマーケットではない)
アライナー（マウスピース）矯正がニーズを掘り起こし、ブラケット矯正も増加、単価も上昇しているが、特需後の反動を懸念
- ②カスタムメイド矯正装置（当社主力商品）
患者毎にオーダーメイドしたアライナー型やブラケット型矯正装置で、デジタルとの親和性から今後成長の余地。

免責事項

☞掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。

☞本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

☞なお本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。

☞今後リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。予めご了承ください。



X(旧Twitter) ASO公式アカウント開設
株式・株価に関する情報をお届けいたします。
みなさまのフォローをお待ちしております。

@ASO_9340



ASO International, Inc.
Orthodontic Laboratory Services

お問い合わせ

株式会社アソインターナショナル 管理部
〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8
email : ir@aso-inter.co.jp

【東京証券取引所スタンダード市場：9340】